

高速道路は 何のためにあるの？



東日本高速道路株式会社

<http://www.e-nexco.co.jp/>

高速道路は、車が早く目的地に着くためのもの。走っている時にはなかなか気づきませんが、車が安全に速く走るために、たくさん工夫がされています。高速道路をつくって運営しているNEXCO 東日本に教えてもらいました。

※ NEXCO 東日本は、東日本高速道路株式会社の愛称



車が安全に速く走れることで、人やモノの移動時間を短縮するため！



信号がない！
高速道路上には信号がないから、スムーズに移動できる。

道幅が広い
普通の道路より、道幅が広くつくられているため走りやすい。

走りやすい道
谷には橋をかけ、山にはトンネルを掘ることで、急な坂や急カーブがない走りやすい道をつくっている。

安全・安心のために
高速道路では、パトロール車や除雪車などのさまざまな車が行き交い、道路の安全・安心を守っている。

道路の状況をお知らせ
目的地までの道に渋滞や事故などがあつた場合、道路上の情報板でお知らせする

ふつうの道路と
すいぶん
違うんだね。

パトロールで道路の
安全を監視



▲道路に危険なところがないか、事故を起こして困っている人がいないか、24時間365日パトロールしています。NEXCO 東日本のパトロール隊が1日にパトロールする距離は、地球1周半くらいにもなります。

傷んだところを
すばやく発見・修理



▲年月が経ち、たくさんの車が通るうちに、道路に傷みが出てきます。そのため、定期的な点検で傷んだところをすぐに見つけ、補修しています。

キミにもできる！ 安全ドライブ

シートベルトを着けよう！

万一のときに命を守ってくれるのがシートベルト。後部座席でも必ず着けよう。シートベルトをすれば、事故の時に車の外に投げ出されることを防ぐことができるよ。

こまめに休憩を！

もし、運転している人が眠そうだったら、休憩を取るようにアドバイス！ 眠くなくても、2時間に1回は、サービスエリアなどで休憩しよう。



▲江戸時代をテーマにした羽生パーキングエリア(上り)。ほかに、楽しい施設がたくさんあるよ。

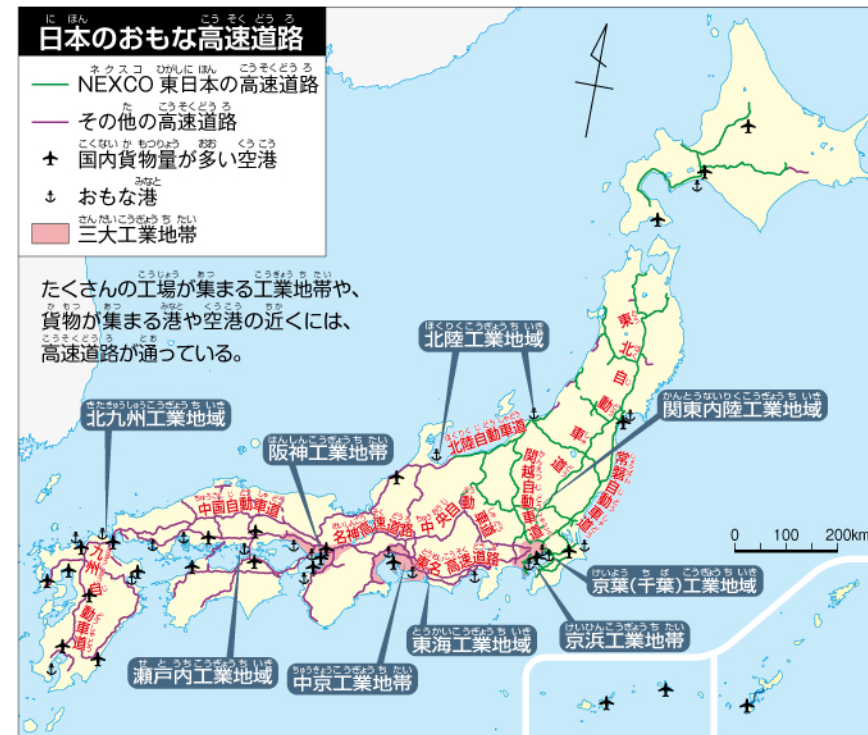
高速道路は人やモノの移動を支えている！

日本中に張りめぐらされた高速道路ネットワークのおかげで、遠くの観光地まで早くたどりつくことができたり、生産地と人口の多い都市を結ぶことで、高原で育てた野菜や港で揚げた魚を、新鮮なうちに遠く離れた町まで運ぶことができます。

日本のおもな高速道路

- NEXCO 東日本の高速道路
- その他の高速道路
- 国内貨物量が多い空港
- おもな港
- 三大工業地帯

たくさんの工場が集まる工業地帯や、貨物が集まる港や空港の近くには、高速道路が通っている。



災害時にも人やモノを届ける！



▲東日本大震災のときは、地震の翌日には自衛隊や消防などの車が、13日後には、ほとんどの高速道路ですべての車が通れるようになった。

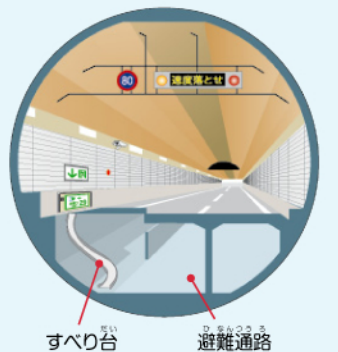
災害が起きたとき、被災地に向かう自衛隊や消防などの車や、物資を積んだトラックも、高速道路があれば、すばやく現地につけます。高速道路が早く復旧することは、より多くの人を救うことにつながるため、災害の時には、早期復旧に努めています。

高速道路の秘密

秘密の道？



▲東京湾アクアラインの海底トンネルの道路の下につくられている緊急避難通路。すべり台で下りられるようになっているよ。



秘密の粒



▲道路が凍るのを防ぐためにまいているのは「塩」。水に塩が溶けることで水になる温度が低くなる効果を利用しているよ。

渋滞の予報はどうやって出しているの？

答えてくれた人 NEXCO 東日本
渋滞予報士 加藤寛道さん

どこでどれくらいの渋滞が起こるのかは、過去のデータを中心に、休日の並びや周辺で開かれるお祭りなどのイベントの日程を見て予測しています。渋滞予報は、ドライバーのみなさんに、渋滞を避けてもらい、渋滞を小さくすることが目的です。渋滞予報を参考にして、ぜひ快適なドライブをしてください。

渋滞予報士は
日本でたった1人。
楽しくドライブして
もらえるように
がんばります！



▲道路管制センター

関東1300kmの道路情報が集まってくる。渋滞予報士の加藤さんも、同じ建物に勤務し、日々、道路情報をチェックしている。

▶非常電話

高速道路にある非常電話は、受話器を取ると道路管制センターにつながる。困ったときは利用しよう。

